

脈々 高蔵^{スピリッツ} 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「家族は同心協力」

父親は一番風呂、食卓においても一品多くが古くからの慣習であった。

人を立てることによって絆は強まり、立てられることによって人は立つ。

デモクラシーの世にも、民衆を指導する中心人物は必要であり、家庭には大黒柱がなくてはならない。これがなければ、集団は烏合の衆となり、家庭は単なる宿泊所と化す。

旧習の弊を脱するに急なるの余り、併せて長所をも捨てゝ顧みず、而も新しき美風の未だ起らざる。
(「藪椿」3 - 8)